



自然はみんなの先生

社会教育士として大切にしていることがあります。

「学び」はつながりから生まれ、「学び」は新たなつながりを育て、その積み重ねが地域をつくるということなのです。

社会教育というと難しく聞こえるかもしれませんが、「学び」は本来、「知りたい」「学びたい」「教えたい」「伝えたい」という、一人ひとりの思いから始まります。公民館活動や地域の講座、サークル、eスポーツなどの体験もその一つです。



多世代でつながる

共通する関心をきっかけに人と人が出会い、関係性が生まれ、「また来たい」「ここに居たい」と思える「居場所」へと育っていきます。

「居場所」とは「自分らしくいられ、そこに居たいと思える場所」だと考えています。価値観や生き方が多様化する今、多様な「居場所」が地域にあることは、一人ひとりの幸福感を高め、地域全体の豊かさにもつながります。そして、その企画や運営に関わり、「自分も地域の

一部をつくった」と感じられたとき、「住んでいる地域」は「私の地域」へと変わっていきます。

子どもについても同じです。哲学者ルソーは「子どもは小さな大人ではない」と述べました。子どもには子どもならではの見方や感じ方、考え方があります。地域の一員である以上、その声を大切にしない理由はありません。

さらに、声を聞くだけでなく、子どもが参加し、挑戦できることも必要です。失敗しても大人が一緒に受け止め、再挑戦できる環境があれば、その経験は地域への愛着や当事者意識を育みます。

町役場や町議会には、中央公民館をはじめとする地域の場が、多様な「学び」と「居場所」、そして子どもや若者が参加し、挑戦できる拠点としてさらに発展していくことを期待しています。

南風原町社会教育委員
任意団体こも代表

仲原 英孝(社会教育士)

学びと居場所が 地域を育てる

表紙の題字・写真をお寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか。表紙の題字と写真を募集中です。のびやかな題字や笑顔あふれるお写真をお待ちしています。ご意見・ご要望なども広く募集しています。

議会だよりへのご意見・ご感想も受け付けています。

連絡先：議会事務局 TEL.889-3097 FAX.889-4499
E-Mail H8893097@town.haebaru.okinawa.jp



《 左のQRコードを読み取ることで議会中継サイトに繋がります。》



《 はえばる議会だよりのバックナンバー》



《 議員との意見交換会受付中》

編集室より

今回の議会だよりは私たち20期議員が編集する最後の発行になる。4年間を振り返ると、どの編集においても絶えず「新たな視点、町民の皆さまの読者視点」を大事に議論を重ねてきた。

私自身はこれまで4期15年、広報委員を務めさせてもらったが、議会改革の大部分をこの広報委員会から芽が出て、時には進んで戻るを繰り返しながら実現してきた。ぜひ次期委員にも、新たな発想、大胆な改革を期待したい。

様々な情報や媒体が溢れる現在、私たち議会も、そして議員自身も変化が求められていると感じる。「より便利に、より分かりやすく」は基本だが、「議会の臨場感や、議員の熱量が伝わる」そんな広報のあり方があってもいいのではないか？

(担当/照屋 仁士)